

問 B. 地図投影法について、次の各問に答えよ。

問 B-1. 次の 1 ～ 4 の文は、平面直角座標系（平成 14 年国土交通省告示第 9 号）について述べたものである。下線部の語句又は数値について、正しいものには○を、間違っているものには×及び下線部に当てはまる正しい語句又は数値を、それぞれ解答欄に記せ。

1. 平面直角座標系では、日本全国を 19 の区域に分けている。
2. 平面直角座標系の座標系原点における縮尺係数は、1.0000 である。
3. 平面直角座標系の X 軸から離れた地域ほど縮尺係数が小さくなる。
4. 平面直角座標系において、点 A, B, C, D の座標を（X 座標, Y 座標）で表したとき、点 A : (0.000, 0.000), 点 B : (0.000, M), 点 C : (N, 0.000), 点 D : (N, M)（ただし、 $M > 0$ 及び $N > 0$ ）とする。この全点の座標を準楕円体面上の緯度・経度に変換したとき、点 A, 点 B 間の経度差は点 C, 点 D 間の経度差と比べて大きいことが確認できる。